

トライアングルプログラム2019

実施期間	実施国	共同実施機関	対象	参加者	本学担当教員
2019年09月02日 ～2019年09月21日	大韓民国	パリ・ベルヴィル建築大学 漢陽大学	・建築学科、建設工学専攻 ・学部3年生、学部4年生、修士1年生、修士2年生	(芝浦工業大学) 学生11名、TA2名、教員3名 (パリ・ベルヴィル建築大学) 学生8名、教員2名 (漢陽大学) 学生11名、教員2名	桑田 仁(建築学科)、赤堀 忍(建築学科)、青島 啓太(建築学科)



図1 プロジェクトの集合写真

パリ・ベルヴィル建築大学との交換プログラムは1995年から開始され、2011年からはソウル・漢陽大学を加えた3大学でのトライアングルプログラムとして開催されている。2019年の開催地は、ソウル・漢陽大学で、芝浦工業大学からは、建築学科と大学院生が参加した。プログラムの課題は、ソウル市の東部にあるソンスドンと呼ばれる長く工業地域として栄えたエリアで、街の一角に建つ赤レンガの倉庫建築の改修計画だった。今も衣服装飾品のアトリエや印刷業、自動車修理工場等様々な産業が残りながらも、周辺の居住エリアの人口拡大による都市機能や文化施設の環境整備が求められている。ホスト大学の漢陽大学ジンコク教授から学生たちに求められた課題は、この近代遺産建築を活かしながら地域に開く図書館の設計だった。日仏韓の3カ国の学生で3～4名の8組のグローバルチームに分かれ、それぞれ視察から企画、設計提案までを議論しながら完成させた。



図2 チームと教員との議論



図3 ファイナルジュリーの様子



図4 韓国伝統のオンドル空間を体験



図5 視察旅行での集合写真



図6 日仏韓混合チームで設計